

おすすめのこどもの本

- 2023年11月から2024年10月に出版された本の中から、特におすすめする本を選びました。子どもの本に関わる大人の方へ向けて紹介しています。
- 本の情報は、書名、著者名、出版社名、図書館での分類記号、対象年齢の順になっています。

2025年4月発行 発行者：枚方市立中央図書館
電話：050-7105-8121 FAX：072-851-0962



↑図書検索は
コチラから！

まいごでござる

荒戸里也子／作 BL出版

エホナーアラ 【小学校低学年】



こたろうは、しろくて、ふさふさした迷子のしろふさちゃんのおうちを探すために、町のみんなの力を借りて色々なところを訪ねていきます。しかし、しろふさちゃんのおうちは見つかりません。

しろふさちゃんはいくつ何者なのでしょう。時代物の不思議な世界観に引き込まれます。

ママたちが言った

アリシア・D・ウィリアムズ／文

ブリアナ・ムコディリ・ウチエンドウ／絵 落合恵子／訳
クレヨンハウス エホナーウチ 【小学校中～高学年】



ジェイは、アフリカ系アメリカ人の男の子です。大きくなるにつれて「してはいけないこと」を家族から教わるようになりました。それは差別と偏見からくる暴力から命を守るためです。

アメリカ国内に根強く残るアフリカ系アメリカ人への差別意識とその現状が描かれている絵本です。

キッチンカーです

オームラトモコ／作・絵 教育画劇

エホナーオム 【幼児】



ブッブー、自動車がやってきました。ふつうの自動車ではありません。キッチンカーです。パトカーや消防車、ミキサー車など食べ物とは縁遠い車もキッチンカーに大変身します。

発想の飛躍とキッチンカーを囲む動物たちの様子が楽しい絵本です。

こころころころ

新井洋行／作 北村みなみ／絵 岩崎書店

エホナーキタ 【小学校低～高学年】



ぼくの心はこころころ変わります。笑ったり、泣いたり、落ち込んだり、怒ったり、気持ちに振り回されて大変です。双子のお姉ちゃんも、両親も、一日の中で心はこころころ変わると言います。

自分の心と仲良くやっていくためのコツを教えてくれる絵本です。

にじをかけたむすめ

宝迫典子／文 後藤仁／絵 BL 出版

エホンーミドリーコト 【小学校中～高学年】



小さな村に、花辺（ホワビエン）という刺繍飾りを作るのが上手な娘がいました。娘の評判を聞きつけた王様は、娘を無理やり城に連れていきます。娘は、悲しみに打ちひしがれ、涙を流しながら、オンドリを刺繍しました。

ようやくできあがると、本物の生きたオンドリが布から飛び出しました。中国最古の少数民族、苗（ミャオ）族の昔話です。

みんなのいえ

たしろちさと／著 文溪堂

エホンータシ 【小学校低学年】



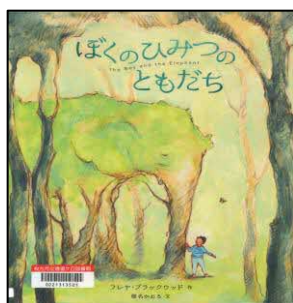
冬のある日、一人の年配いた旅人が冷たい北風が吹きぬける空き家に住みつきました。老人は少しずつ家の修繕に取りかかりました。春になると新しい旅人がやってきて一緒に暮らすようになりました。

季節が変わるたびに一緒に暮らす人が増え、家は中も外も明るくにぎやかに変わっていききました。

ぼくのひみつのともだち

フレヤ・ブラックウッド／作 椎名かおる／文

あすなろ書房 エホンーフラ 【小学校低～中学年】



都会の街なかにひっそり息づく小さな森。そこに、象の形をした木がありました。少年にとって、その木は大切な友達。ところがある日、木が伐採されることになりました。

少年は、木を助けたいと、夜中に森へ向かいます。少年と象の絆を描いた絵本です。

たんじょう日をとりのもどせ！

井上よう子／作 八木橋麗代／絵 岩崎書店

ヤサシイーノ 【小学校低学年】



今日はりおの8歳の誕生日。なのに、両親は仕事でいません。ふと見ると、カレンダーから、誕生日の日付の2だけ消えています。りおは、盗んだ大カラスをおいかけ、カメンばあさんの館へたどりつきます。

親の愛情に気付いた子どもの心の成長物語です。

まねをしました

すずきみえ／作 下平けーすけ／絵 文研出版

ヤサシイースス 【小学校低学年～小学校中学年】



ゆうまは、図工の時間、どんな絵を描くか決められず、ハルト君の絵をまねました。ところが、クラスのみんなは、ハルト君がゆうまの絵をまねたと騒ぎます。ゆうまが勇気を出して謝ると、ハルト君は、ゆうまのまねをして逆上がりができるようになったと話しました。

まねと学びについて考えることのできる作品です。

モジモジばあは、本のおいしゃさん

仁科幸子／作 文溪堂

Fーニシ 【小学校低～中学年】



図書館に迷い込んだ働きアリたちは、人間に踏みつぶされそうになったところをモジモジアリのモジモジばあに助けられます。モジモジばあは、図書館が閉館した夜のあいだに、傷んだり、くたびれた本を元気にするお医者さんです。

本が大切に思える、あたたかな物語です。

ふでばこのくにの冒険

村上しいこ／作 岡本順／絵
童心社 **F-ムラ** 【小学校高学年】



修人そっくりのフィギュアのぼくは、修人のふでばこの中の文房具たちと仲良くなり、ふでばこのくにのルールを学びます。ぼくは文房具たちに協力してもらい、離婚して家を出た修人のママに会いに行く冒険に出ます。

フィギュアと文房具たちが持ち主である子どもの心の傷を癒そうと奮闘する物語です。

みかんファミリー

擲月美智子／著 講談社
F-ヤス 【小学校高学年～中学生以上】



中学一年生の美琴は、シングルマザーのお母さんとおばあちゃんと暮らしています。暑い夏の日、突然お母さんが同級生だった朱美さんの家族と一緒に住むと言い出しました。どんな人たちがよく分からないまま、共同生活が始まります。

互いに思いやる日々を重ね、ふたつの未完成な家族がひとつの大きな家族になっていく優しい物語です。

アナタノキモチ

安田夏菜／著 文研出版
F-ヤス 【小学校高学年～中学生以上】

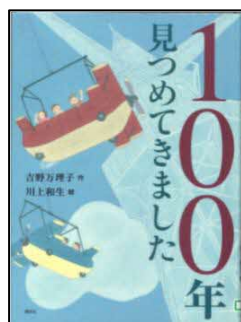


ひよりが5歳のとき、同じ年のいとこのハルくんが家族に加わりました。ハルくんは発達障害のため、人の気持ちを考えるのが苦手です。そんなハルくんにはハラハラするひよりですが、ひよりもまた、人の気持ちを想像せずに、傷つけてしまうことがあるのでした。

雨降って地固まる。そんな言葉がぴったりな家族の絆の物語です。

100年見つめてきました

吉野万理子／作 川上和生／絵 講談社
F-ヨシ 【小学校中学年】

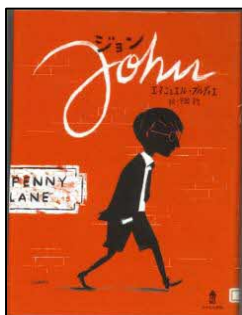


現存する最古の遊具「飛行塔」は、昭和4年、奈良県生駒山上遊園地に生まれました。戦時中、「飛行塔」の飛行機は鉄として使用するために取り外されます。「塔」は、軍の防空監視所として奇跡的に存続しました。

やがて戦争が終わり、「飛行塔」は元の「遊具」に戻ります。戦前から令和までの時代を「飛行塔」の目線で語る歴史ファンタジーです。

ジョン

エマニュエル・ブルディエ／著 平岡敦／訳
あすなろ書房 **N-フル**
【小学校高学年～中学生以上】



ジョンは、芸術家になりたいという夢を持つ10歳の少年です。ジョンは、綺麗で想像力にあふれる母ジュリアと離れ、伯母や伯父と暮らしていました。ある日、ジョンは、伯母の家に下宿する大学生にハーモニカを借りて練習し、友達に聴かせ、自分で曲を作るようになりました。

ビートルズのジョン・レノンが音楽と出会うまでを描いた物語です。

魔女がやってきた！

マーガレット・マーヒー／作 尾崎愛子／訳
はたこうしろう／絵 徳間書店
N-マヒ 【小学校低～中学年】



絵本からヤングアダルト向け小説まで数多くの物語を書いたニュージーランドのファンタジー作家マーガレット・マーヒーの作品から魔女が出てくるお話を五つ選んで一冊にまとめた短編集。

食いしん坊な魔女や、ちゃっかりしている魔女、見栄っ張りな魔女や、意外と優しい魔女、そして、魔女らしくない魔女など、いろんな魔女が登場します。

シロツメクサはともだち

鈴木純／著 ブロンズ新社

チシキ 479 【小学校低～中学年】



シロツメクサは、日本中どこでも見られる身近な草花です。四つ葉のクローバーを探したり、花を摘んで花冠を作って遊んだことのある人は多いのではないのでしょうか。

シロツメクサが友だちに語りかけるように、意外な生態を解説します。ぜひシロツメクサの本当の姿を確かめてください。

空気を換える

デビー・リヴィ／文 アレックス・ボーズマ／絵

宮坂宏美／訳 あすなろ書房

チシキ 519 【小学校高学年～中学生以上】



人々が暮らしを営む中で排出されてきた二酸化炭素。これまでは自然の力によって、ある程度地球環境は維持されてきました。しかし、その力を上回る大量の二酸化炭素が排出され、地球環境は悪化の一途をたどっています。

これからも地球で暮らししていくためには、どうすればいいのか。そのヒントが描かれている絵本です。

エスカレーターとエレベーター

小輪瀬護安／さく 福音館書店

チシキ 528 【小学校低学年】



たくさんの人を次々と運ぶエスカレーターと、離れた階に素早く移動するエレベーター。どちらも身近な乗り物ですが、どんな仕組みで動いているのでしょうか。

アングルに工夫を凝らした、わかりやすい絵で解説しています。普段の移動が楽しくなりそうな絵本です。

ミツツボアリをもとめて

今森光彦／著 偕成社

382 【小学校中学年～中学生以上】



ミツツボアリという珍しいアリを求めて、今も狩猟採集の暮らしをしているアボリジニの家族と共に、ぼくは南オーストラリアの砂漠地帯を旅します。何日も歩き続けて、いよいよミツツボアリとの対面です。

巣の中を見ると、その姿の不思議で美しいこと！大自然と一体感になったような喜びと満足感を得られる本です。

イグアノドンのツノはなぜきえた？

ショーン・ルービン／文・絵 千葉茂樹／訳 岩崎書店

457 【小学校低～中学年】



約200年前に発表された恐竜のイグアノドンは鼻先にツノがはえていました。後に、完全な骨がそろって発見され、復元してみると、そのツノはトゲのような前足の親指でした。

仮説は正しいこともあれば、情報不足で間違っていることもあります。研究者と復元画家が試行錯誤する様子が生き生きと描かれた絵本です。

ゾウのはなのあなは、どこまでつづいているの？

中山信一／え 高岡昌江／ぶん あすなろ書房

489 【幼児～小学校中学年】



長いゾウの鼻の穴はどこまで続いているのか、ゾウの鼻のつくりはどうなっているのか、ゾウはどのように鼻を使っているのかを平易な語句で解説しています。

巻末にある、鼻がぶきつちよなゾウのお話も示唆に富んでいます。